

## 第13回 三保連合同シンポジウム

内科系学会社会保険連合  
外科系学会社会保険委員会連合  
看護系学会等社会保険連合（担当）

総合テーマ 医療と介護の連携

日時：平成26年9月9日（火）18:30～20:30  
会場：聖路加国際大学  
アリス・C・セントジョン・メモリアルホール

事前受付はございません。  
当日多数の方のご来場をお待ちしております。

### 【問い合わせ先】

一般社団法人看護系学会等社会保険連合（看保連）事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル4階内  
TEL:03-3409-1569 FAX:03-3409-1574  
E-mail:[info@kanhoren.jp](mailto:info@kanhoren.jp)

# 第13回 三保連合同シンポジウムプログラム

## テーマ 医療と介護の連携

日時： 2014年9月9日（火）18時30分～20時30分

会場： 聖路加国際大学 アリス・C・セントジョン・メモリアルホール

### 【シンポジウムのねらい】

第12回三保連シンポジウム（平成26年3月28日、内保連主宰）では、内保連、外保連、看保連から提示された現時点における中心課題についてご講演頂くとともに、厚生労働省保険局医療課 小林一司 課長補佐から平成26年度診療報酬改定について概説して頂き、わが国の保健医療制度のあり方について議論を重ねて参りました。

第13回三保連シンポジウムでは、「医療と介護の連携」と題し、診療報酬・介護報酬を連結して、医療、看護、介護の連携とその促進について考えたいと企画いたしました。厚生労働省医療介護連携担当である吉田学大臣官房審議官による基調講演をもとに、内保連、外保連、看保連の立場からご報告頂き、診療報酬・介護報酬の適正化を目指した三保連の今後の方向性、及び戦略を模索するための議論を行いたいと考えております。

皆様のご参加をお待ちしております。

### 【プログラム】

#### 1. 開会の挨拶（18：30 ～ 18：35）

井部 俊子（看保連 代表理事）

#### 2. 講演（18：35～） 司会：井部 俊子（看保連 代表理事）

##### 1) 基調講演（18：35 ～ 19：05）

「医療と介護の連携の道すじ」

吉田 学氏（厚生労働省 大臣官房審議官 医療介護連携担当）

##### 2) 講演（19：05 ～ 20：05）

内保連より（20分）

清水 恵一郎（内保連 内科系診療所委員会・在宅医療関連委員会委員長）

外保連より（20分）

山口俊晴（外保連会長）

看保連より（20分）

林 優子（看保連理事 診療報酬及び介護報酬体系のあり方に関する検討委員長）

#### 3. 全体討論（20：05 ～ 20：30）

司会：工藤 翔二（内保連 代表）、岩中 督（外保連 会長補佐）、井部 俊子（看保連 代表理事）

#### 4. 閉会の挨拶（20：30）

井部 俊子（看保連 代表理事）

## 【三保連・講演抄録】

内保連の立場から：

清水 恵一郎（内保連 内科系診療所委員会委員長・在宅医療関連委員会委員長）

2014年の診療報酬改定のポイントは、主治医機能を評価した200床未満病院と診療所が対象の「地域包括診療料」の新設が挙げられる。厚労省は、2025年に向けた日本の医療のあり方として、「地域包括ケアシステムの構築」を明確にしている。在宅療養者が地域で安心して継続した生活を送るためには、医療（訪問診療）・看護（訪問看護）・介護（ヘルパー派遣、通所等）が心の通う連携の下に、受療者中心のサービスを提供すべきであり、その実現のためには、財源を確保し、診療報酬・介護報酬の適切な評価が必須である。

外保連の立場から：「適正な診療報酬の在り方を考える—技術度、人、時間、材料+ $\alpha$ 」

山口 俊晴（外保連 会長）

外保連は、適正な診療報酬がどのようにあるべきか、科学的に解明するために設立された組織である。技術度、人、時間を中心に外保連試案を作成し、その精緻化に努めてきた。そして、材料の実態調査を加え、診療報酬の適正な評価のための基礎的なデータを公開してきた。平成26年度改定では、基本的には外保連試案のようなエビデンスに基づいた資料を参考に、診療報酬の改定が進められた。その中で、医療技術を構成する経費以外に、その技術の価値を示す新しい評価軸を提示することの重要性が明らかになってきた。外保連の新しい活動方向について報告する。

看保連の立場から：

林 優子（看保連 理事 診療報酬及び介護報酬体系のあり方に関する検討委員長）

2025年問題を目前に控え、地域包括ケアシステムのより一層の充実が求められている。特に複数疾患を持つ高齢者の急増に対し、看護師は多職種間や多施設間において予防を重視した適切なケアが行き届くよう、保健、医療、介護を心得た上での専門的看護を提供することが求められる。機能分化が加速している医療・介護の場において、地域で暮らす人々が切れ目なく暮らせるために必要な看護を考え提案したい。

## <会場のご案内>

聖路加国際大学 1階アリス・C・セントジョン・メモリアルホール

◆住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 10番1号

### ◆会場までのアクセス：

東京メトロ 日比谷線 築地駅 3番出口または4番出口を出て、デニーズと東京トヨペットの間を直進（徒歩3分）

東京メトロ 有楽町線 新富町駅 6番出口を出て、一つ目の道を右折して直進（徒歩5分）

